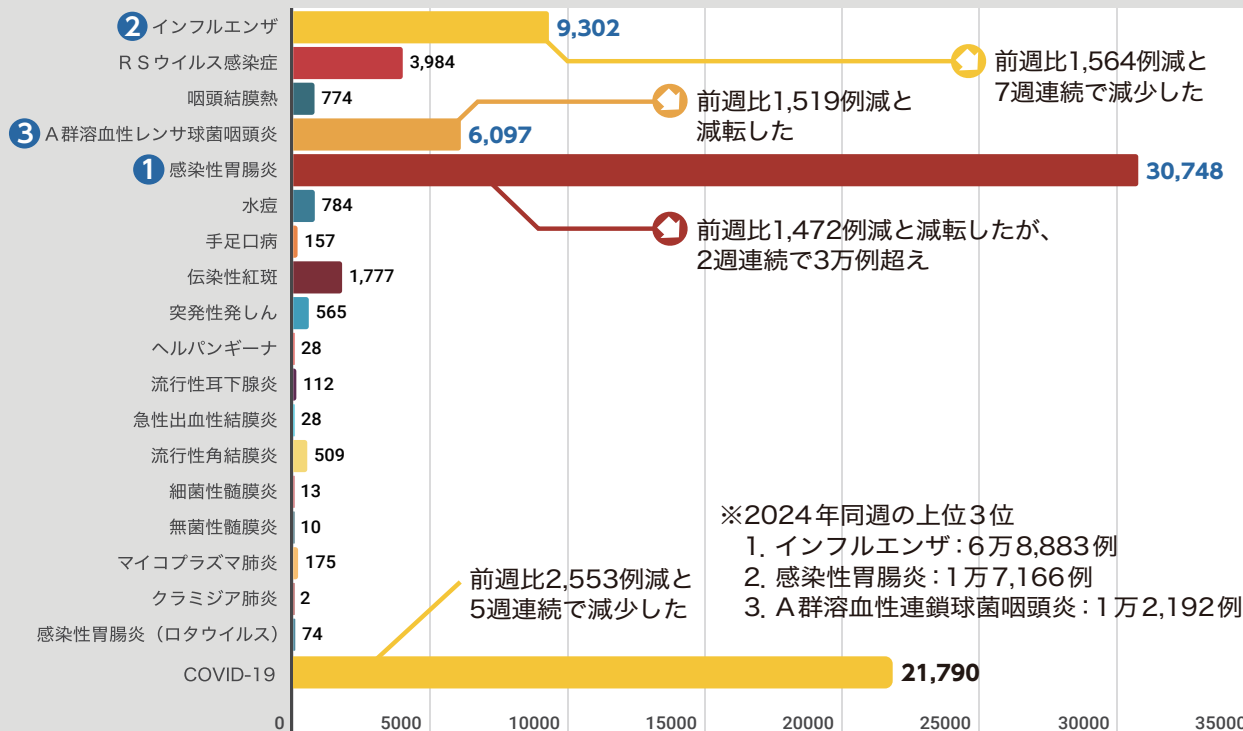




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

感染性胃腸炎、3万例超えで高止まり

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

① 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 3,441例
2. 神奈川県: 2,202例
3. 大阪府: 2,059例

定点当たりの報告数(9.83)

- | | | | |
|---------------|----------------|---------------|----------------|
| 1. 大分県: 23.22 | 4. 鹿児島県: 16.80 | 7. 山梨県: 13.83 | 10. 広島県: 12.14 |
| 2. 愛媛県: 17.17 | 5. 香川県: 15.96 | 8. 福岡県: 13.63 | 11. 石川県: 11.97 |
| 3. 熊本県: 17.06 | 6. 宮崎県: 13.89 | 9. 東京都: 13.03 | 12. 佐賀県: 11.91 |

② インフルエンザ

報告数

1. 北海道: 728例
2. 神奈川県: 676例
3. 埼玉県: 606例

定点当たりの報告数(1.89)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 沖縄県: 7.61 | 4. 北海道: 3.28 | 7. 岩手県: 2.60 | 10. 奈良県: 2.22 |
| 2. 新潟県: 4.06 | 5. 山形県: 3.00 | 8. 長野県: 2.47 | 11. 群馬県: 2.18 |
| 3. 栃木県: 3.89 | 6. 千葉県: 2.62 | 9. 埼玉県: 2.32 | 12. 静岡県: 2.07 |

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都: 489例
2. 北海道: 436例
3. 福岡県: 408例

定点当たりの報告数(1.95)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 1. 茨城県: 4.19 | 4. 大分県: 3.67 | 7. 北海道: 3.21 | 10. 鹿児島県: 2.88 |
| 2. 新潟県: 3.84 | 5. 福岡県: 3.43 | 8. 鳥取県: 3.11 | 11. 長崎県: 2.84 |
| 3. 富山県: 3.83 | 6. 岩手県: 3.33 | 9. 愛媛県: 2.94 | 12. 千葉県: 2.68 |

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は1,472例減と減転したが、2週連続で3万例超え。大分県では定点当たりの報告数が23.22と前週に引き続き警報レベル(20.00)を超えた。インフルエンザは7週連続で減少した。定点当たりの報告数が注意報レベル(10.00)を超えている地域はなかった。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は1,519例減と減転した。COVID-19は5週連続で減少した。伝染性紅斑はわずかに増加。福島県では定点当たりの報告数が2.06と警報レベル(2.00)を超え、青森県でも1.92と多い状況が続いている。RSウイルスは8週連続で増加した。定点当たりの報告数は、山口県が5.12と最も多く、以下、奈良県で3.68、福井県と愛媛県で各2.56、佐賀県で2.43と続いた。感染性胃腸炎の報告数は依然高水準だった。今後の動向を注視するとともに、感染対策を徹底すべきである。